調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
1	公園・緑地のリバイタリゼーション（再生）	1-1	パークマネジメントプランの策定	・全体のパークマネジメントプランとして、「吹田市都市公園等整備・管理方針」を令和2年度に策定しました。 ・桃山公園及び江坂公園の「目指すべき姿」を令和3年度に策定しました。 ・令和3年度、千里北公園の「目指すべき姿」の策定に向け、ワークショップを実施しました。 ・令和5年度、中の島公園の「目指すべき姿」を策定しました。 ・令和5、6年度、紫金山公園の「目指すべき姿」の策定に向け、ワークショップを実施しました。	**・紫金山公園の目指すべき姿を策定しました。**
		1-2	遊園の利活用	・全体のパークマネジメントプランである「吹田市都市公園等整備・管理方針（令和2年度策定）」において、遊園を含む都市公園等の利活用の方針として、基本方針2「都市公園等の配置・規模・機能の再編と適正管理の推進」を設定しました。 ・その試行的な取り組みとして、令和6年度から青山台地区を対象に遊園の機能特化・分担と公園施設の設置適正化に向けて地域住民とワーキンググループによる協議、実践に取り組みました。	**・「吹田市都市公園等整備・管理方針」の基本方針2（3）の試行的な取り組みとして、青山台地区において地域住民主体による菜園花壇、雑草対策等の社会実験を行い、遊園の利活用に取り組みました。**
		1-3	千里南公園へのパークカフェの設置	平成30年度に千里南公園にカフェレストラン「bird tree」を設置しました。	

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
2	公園・緑地の維持管理適正化と効率化	2-1	「公園施設長寿命化計画」の改訂	平成30年度に遊具を対象に「公園施設長寿命化計画」を改訂しました。 令和3年度に全ての公園施設を対象に「公園施設長寿命化計画」を改訂しました。	
		2-2	「公園施設安全・安心対策事業」の推進	・毎年度、「公園施設安全・安心対策事業」により概ね5基の遊具の取替え工事を行っております。	・公園施設安全・安心対策工事にて計18基の遊具の取替工事を行いました。
		2-3	公園・緑地樹木台帳の更新	・平成26年度及び平成27年度に実施した「樹木健全度緊急調査業務」の成果を活用し、公園緑地樹木台帳を充実しました。 ・令和2年度以降は毎年度、市内を5地域に分けて「樹木健全度調査業務」を実施し、公園緑地台帳を更新しました。	・引き続き、市内を5地域に分けて「樹木健全度調査業務」を実施し、公園緑地台帳を更新しました。
		2-4	「（仮称）樹木適正管理指針」の策定（3-2併合）	・平成29年度に「吹田市道路・公園樹木適正管理指針」を策定しました。	
		2-5	市民による樹木見守り制度の導入（3-3併合）	・平成30年度に花とみどりの情報センター主催のみどりのまちづくりシンポジウムによる啓発、令和2年度に樹木ガイドを行う市民団体と試行的な取り組みの実施を経て、令和3年度以降は市民による樹木見守り制度（ボランティア制度）化ではなく、「サクラみまもり講座」など、広く市民への樹木への関心、愛着を高める講座などに取り組んでいます。	・花とみどりの情報センターにおいて、市民団体との連携により、「サクラみまもり講座（全3回の連続講座）」、「樹木ガイド（計8回）」の実施や、市民団体と調査を行いました。
		2-6	樹形の適正化（3-4併合）	・「吹田市道路・公園樹木適正管理指針（平成29年度策定）」及び、令和2年以降に毎年度実施している「樹木健全度調査業務」の結果に基づき、剪定等を行い、樹形の適正化を図りました。	・「吹田市道路・公園樹木適正管理指針（平成29年度策定）」及び令和6年度に実施した「樹木健全度調査業務」の結果に基づき、剪定等を行い、樹形の適正化を図りました。
		2-7	樹木健全度調査（3-5併合）	・令和2年度以降は毎年度、市内を5地域に分けて「樹木健全度調査業務」を実施しています。	・市内を5地域に分けて「樹木健全度調査業務」を実施しました。
		2-8	公園・緑地の地域別一括維持管理委託（アウトソーシング）の検討	・全体のパークマネジメントプランである「吹田市都市公園等整備・管理方針（令和2年度策定）」において、公園・緑地の地域別一括維持管理委託（アウトソーシング）の方針として、基本方針3（2）「民間事業者等と連携した都市公園等の再整備と管理運営の推進」を設定しました。 ・令和3年度には公園・緑地の地域別一括維持管理委託（アウトソーシング）の試行に向けた検討を開始し、令和6年度には包括的民間委託の導入に向けた検討を開始しました。	**・公園等の管理について、包括的民間委託の令和9年度の導入に向けて準備を開始しました。**

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
3	街路樹のリバイタリゼーション（再生）	3-1	街路樹台帳の整備	・平成26年度及び平成27年度に実施した「樹木健全度緊急調査業務」の成果を活用し、街路樹診断カルテを作成しました。 ・令和2年度以降は毎年度、市内を5地域に分けて「樹木健全度調査業務」を実施し更新しています。	・「樹木健全度調査業務」を実施しカルテを更新しました。
		3-2	「（仮称）樹木適正管理指針」の策定（2-4併合）	・「吹田市道路・公園樹木適正管理指針」を策定済みです。（平成30年３月）	
		3-3	市民による樹木見守り制度の導入（2-5併合）	・花とみどりの情報センターにおいて、市民団体との連携により、「サクラみまもり講座（全３回の連続講座）」、「樹木ガイド（計9回）」の実施や、市民団体と調査を行い、せせらぎの道と佐井寺南が丘公園のすいたの樹木マップを作成しました。	・花とみどりの情報センターにおいて、市民団体との連携により、「サクラみまもり講座（全３回の連続講座）」、「樹木ガイド（計8回）」の実施や、市民団体と調査を行いました。
		3-4	樹形の適正化（2-6併合）	・「吹田市道路・公園樹木適正管理指針（平成29年度策定）」及び令和2年度以降に毎年度実施している「樹木健全度調査業務」の結果に基づき、剪定等を行い、樹形の適正化を図っています。	・「吹田市道路・公園樹木適正管理指針（平成29年度策定）」及び令和6年度に実施した「樹木健全度調査業務」の結果に基づき、剪定等を行い、樹形の適正化を図りました。
		3-5	樹木健全度調査（2-7併合）	・令和2年度より市内を区域分けし樹木健全度調査業務を実施しています。	・市内を5地域に分けて「樹木健全度調査業務」を実施しました。

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
4	「北大阪健康医療都市（健都）」のまちづくりによるみどりの拠点の創出	4-1	「北大阪健康医療都市（健都）緑化重点地区計画」の策定	・未策定となっています。	・未策定となっています。
		4-2	「緑のふれあい交流創生ゾーン1」における防災機能や健康づくりの機能を備えた緑の空間の創出	・平成30年3月に健都レールサイド公園がオープンし、公園内には、かまどベンチ、災害用マンホールトイレ、1万人の3日間分の水を確保する耐震性貯水槽等を設置しました。 ・国立循環器病研究センター及び市立吹田市民病院の協力、監修のもと、27基の健康遊具と4つのウォーキングコースを整備しました。 ・令和2年4月からは指定管理により、健康遊具やウォーキングコースといった、公園の施設・設備を活用した運動プログラム等を実施しています。	・指定管理者を中心とする運動プログラムを実施しています。
		4-3	都市計画道路「岸部中千里丘線」の整備による街路緑化	・平成30年度　都市計画道路岸部中千里丘線の整備に伴い、街路樹による緑化を実施しました。	
		4-4	エリアマネジメント組織との連携・協働によるみどりのマネジメント	・実施しておりません。	・実施しておりません。

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
5	南吹田地域のまちづくりに併せた重点的な緑化	5-1	「南吹田の新駅周辺緑化重点地区計画」の策定	・平成30年度に「南吹田駅周辺緑化重点地区計画」を策定しました。	
		5-2	都市計画道路「南吹田駅前線」の整備による街路緑化	・平成30年度　都市計画道路南吹田駅前線の整備に伴い、街路樹による緑化を実施しました。	
		5-3	駅前交通広場の整備による駅前緑化	・平成30年度　駅前交通広場の整備に伴い、駅前緑化を実施しました。	
		5-4	上新田公園の再整備	・令和元年度に南吹田駅周辺の6都市公園等を対象に市民ワークショップを開催し、上新田公園の再整備に係る基本計画及び基本設計を行いました。 ・令和2年度に上新田公園の実施設計を行い、令和3年度に再整備工事を実施しました。	
		5-5	市民との連携・協働による地域の重点的な緑化とみどりの適正管理	・南吹田駅まちづくり推進市民協議会等と連携し、維持管理の手法について協議しました。 ・平成29年度及び平成30年度に緑化重点地区計画内の上新田公園内における地域イベントの実施支援を行いました。 ・令和6年度から緑化に関する助成制度を見直したため、制度の周知や、自宅で花壇やプランターによる緑化に取り組む市民に啓発用のピックの配布を行いました。	・制度の周知や、自宅で花壇やプランターによる緑化に取り組む市民に啓発用のピックの配布を行いました。
6	千里山駅周辺のまちづくりに併せた緑化	6-1	都市計画道路「千里山佐井寺線」の整備による街路緑化	・平成29年度　都市計画道路千里山佐井寺線の整備に伴い、街路樹による緑化を実施しました。	
		6-2	駅前交通広場の整備による駅前緑化	・平成28年度　駅前広場の整備に伴い、駅前緑化を実施しました。	
		6-3	ポケットパークの整備	・平成28年度　駅前広場の整備に伴い、駅西側ポケットパークの整備を実施しました。	
		6-4	市民との連携・協働による地域の緑化とみどりの適正管理	・地域の公園等での市民によるボランティア活動を支援しました。	・地域の公園等での市民によるボランティア活動を支援しました。

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
7	歴史と風格あるみどりのまちづくり	7-1	地域との連携・協働による神社周辺の鎮守の森の保全	・風致保安林及びその周辺森林のナラ枯れ実地調査業務を実施しました。	・風致保安林及びその周辺森林のナラ枯れ実地調査業務及び樹幹注入を実施しました。
		7-2	農地の再評価と利活用を通じた保全	・「花とみどりふれあい農園事業」「市民農園整備運営事業」の他、「奨励作物栽培事業」「地産地消販売活動事業」や朝市などによる地産地消の推進により、農地所有者による適正な農地の維持管理に向けた支援を行いました。 ・関連部局の農地に関する買取り希望意向を把握し、買取り申出の際には、買取り希望の部局へ照会を行っています。	・花とみどりふれあい農園事業、市民自主活動型市民農園補助金の交付、朝市等の地産地消の推進により、農地所有者による適正な農地の維持管理に向けた支援を行いました。 ・引き続き関連部局の買取り希望意向を把握し、買取り申出の際には、買取り希望の部局へ照会を行いました。
		7-3	みどりに関する助成制度の総合的かつ抜本的な見直し（8-4併合）	・みどりに関する助成制度の現状及び課題の整理等を行い、近隣自治体を対象に、みどりに関する助成制度等についてのアンケート調査を行いました。 ・令和5年度、みどりに関する助成制度の総合的かつ抜本的な見直しを行いました。その後の制度運用の中で、市民ニーズを把握しました。	
8	花咲くまちづくり	8-1	「（仮称）彩団地（いろどり）」の創出	・平成29年度に「彩（いろどり）団地助成金制度」を創設しましたが、期待する効果が得られなかったため、平成30年度に廃止しました。	
		8-2	阪急南千里駅～北大阪急行桃山台駅間の沿道緑化	・沿道の府営住宅の建替えに併せて接道部の緑化を誘導しました。	
		8-3	公的住宅の建替えに併せた沿道緑化の誘導	・URや府営住宅等の公的住宅の建替えに併せて沿道緑化を誘導しました。	・URや府営住宅など、公的住宅の建替えに併せてみどりの保全や沿道緑化を誘導しました。
		8-4	みどりに関する助成制度の総合的かつ抜本的な見直し（7-3併合）	・みどりに関する助成制度の現状及び課題の整理等を行い、令和2年度には近隣自治体を対象に、令和4年度には活動団体を対象に、みどりに関する助成制度等についてのアンケート調査を行いました。 ・令和5年度、みどりに関する助成制度の見直しを行いました。一部制度については廃止、または従来通りのままとなっています。	

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
9	自然との共生に配慮する開発事業の誘導	9-1	「開発事業の手続等に関する条例（愛称：好いた　すまいる条例）」の緑化基準の実効性の強化	・令和5年度、条例に定める緑化の推進等に係る基準について、緑化基準の運用状況を踏まえ、効果的な緑化を推進するため、緑化率の区分や算定方法に関する基準の見直しを行いました。 ・令和5年度、条例に定める緑化の推進等に係る基準について、緑化基準の運用状況を踏まえ、効果的な緑化を推進するため、緑化率の区分や算定方法に関する基準を見直しを行いました。	
		9-2	開発区域における植物の生育の確保上必要な樹木の保存、表土の保存その他の必要な措置に係る規定の充実	・開発区域における樹木の保存に係る規定の充実のため、条例改正を検討しました。	**・令和7年4月1日付、開発区域における既存樹木を保存した場合、樹冠の投影面積又はみなし樹冠のいずれか大きい方で算定できるようすまいる条例の改正を行いました。**
10	みどりのまちづくりを通じた生物多様性の保全	10-1	市民との連携・協働による身近な動植物の保全	・「緑あふれる未来サポーター」との連携・協働により、ヒメボタル（千里緑地（第4区））及びコバノミツバツツジ（紫金山公園）の保全を図りました。	・市民ボランティア団体との連携・協働により、ヒメボタル（千里緑地（第4区））及びコバノミツバツツジ（紫金山公園）の保全を図りました。
		10-2	身近な動植物の観察会などを通じた生息・生育情報の蓄積	・市民による環境調査結果については、情報提供を受けたものについて、花とみどりの情報センターに蓄積を行い、令和5年度、情報の提供を実施しました。 ・令和6年度、桃山公園において、ボランティア団体主催による自然観察会が2回開催されました。	**・桃山公園において市民とともに樹木調査を実施しました。**
		10-3	外来種の駆除などを通じた環境学習の推進	・平成29年度、令和2年度に市民が開催する千里緑地（第5区）に生育するオオキンケイギクの駆除活動等を通じて、市民の環境学習を推進しました。	・実施しておりません。

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
11	千里花とみどりの情報センターのみどりのまちづくり実践型シンクタンク化	11-1	「（仮称）みどりの人材養成所」の運営	・NPO団体と連携し、すいた樹木ガイドの定期的な開催、樹木みまもり講座を不定期に行いました。 ・令和3年度に再度検討を行った結果、公園協議会を運営することで市民参画・協働の場とする方針に決定し、見直しました。	・事業を見直したため、実施しておりません。
		11-2	「（仮称）みどりの人材バンク」の運営	・意欲のある人材の掘り起こしに取り組みましたが、十分な成果が得られませんでした。 ・江坂花とみどりの情報センターを千里花とみどりの情報センターに統合し、プロジェクトの見直しを行いました。	・事業を見直したため、実施しておりません。
		11-3	「（仮称）みどりのシンクタンク」の運営	・パークマネジメントや樹木見守りなどのテーマごとにプロジェクトを立ち上げ、シンポジウムや講座等の開催により、市民等へ発信しました。 ・令和3年度は施設の統合により、シンクタンクとしての運営は見直しましたが、引き続き市民による公園をつかう取組や、街の木、地域の花壇づくりなどのテーマごとに、セミナーや講座等を通じて発信しています。	・事業を見直したため、実施しておりません。
		11-4	「（仮称）みどりのコラボ」の運営	・みどりに関係する市内NPO団体を集め、会議を行いました。 ・江坂花とみどりの情報センターを千里花とみどりの情報センターに統合し、プロジェクトの見直しを行いました。	・事業を見直したため、実施しておりません。

調査票２　基本施策を推進するための重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト				実施状況	
				平成28年8月改訂後、 令和6年度末まで	令和7年度
12	市内大学との連携によるみどりのまちづくり	12−1	みどりに関する連携研究	・都市公園、公共広場を利用した、精神的、社会的つながりを含めた豊かで満たされた暮らし「ウェルビーイング」を作り出す「場とコミュニティづくり」の未来モデルを構築するための研究会を、関西大学と実施しました。	・実施しておりません。
		12−2	みどりに関する協定の締結	・実施しておりません。	・実施しておりません。
		12−3	学生との連携・協働によるみどりのまちづくりの推進	・関西大学と千里南パークライフ研究会について、打合せ等を実施しました。 ・令和5年度、関西大学が実施するパークカフェプロジェクト（コミュニティーボックス設置）について、相談対応を実施しました。	・実施しておりません。
13	大阪府との連携によるみどりのまちづくり	13−1	都市計画緑地「服部緑地」の整備促進	・令和2年度に大阪府に対して都市計画緑地「服部緑地」の整備促進を要望した結果、令和5年度に「大阪府都市整備中期計画」において、今後20年以内に整備促進する都市施設として位置づけられました。	・実施しておりません。
		13−2	都市計画道路「十三高槻線」の整備による街路緑化		
		13−3	大阪府や河畔企業などとの連携・協働による神崎川と安威川のみどりの充実	・毎年度、「大阪府アドプト・リバー・プログラム制度」を活用し、市民参画、協働による神崎川の清掃活動等を行っています。	・「大阪アドプト・リバー・プログラム制度」を活用し、「神崎川畔クリーンアップ作戦」により、大阪府や河畔企業と連携、協働し、神崎川の清掃活動を行いました。